

「30・10（さんまる・いちまる）運動」

～宇土市では、「30・10運動」を推進しています～

「30・10運動」というのは「料理を残さず食べよう！」
というもので、宴会時に最初の30分、最後の10分
は食事を楽しみ、食べ残しを減らす運動です。



国内の食品廃棄量は、年間約1800万トンで消費量全体の2割に当たり、「*食品ロス」は、年間500万～800万トン発生していると言われています。

宴会時等において「もったいない」を心がけ、食品ロスの削減に取り組みましょう！

また、今では、宴会だけでなく「家庭での食品ロス」を減らす運動としても定着しており、一般家庭向けの方が広がりを見せているほどです。

さらに、「食育」の観点や「ごみの削減」の観点からも効果があり国からもその取り組みを評価されています。

大切なのは、ひとりひとりが「もったいない」を意識して行動することです。

※「食品ロス」・・・食べられる状態であるにもかかわらず廃棄される食品。小売店での売れ残り・期限切れ、製造過程で発生する規格外品、飲食店や家庭での食べ残し・食材の余りなどが主な原因。



「30・10運動」へのご協力よろしくお願いたします！